



# 四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校  
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60  
Tel(048)466-4711  
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

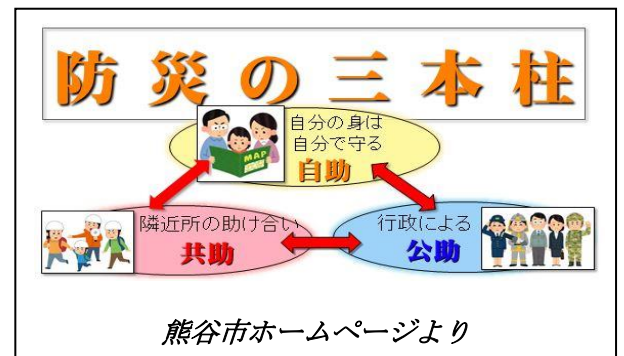
## 地域コミュニティの一員として ～私たちにできること～

校長 稲泉 功

土石流の被害等によって小中学校の休校が続いていた熱海市では、被災した伊豆山地区の1校を除く10校で7月8日に授業が再開されました。しかしながら、今回の土石流によって何人もの方が亡くなり、安否不明の方も多くいらっしゃいます。そして、土石流が起きた現場では2次災害に警戒しながらの捜索活動が今も続いています。

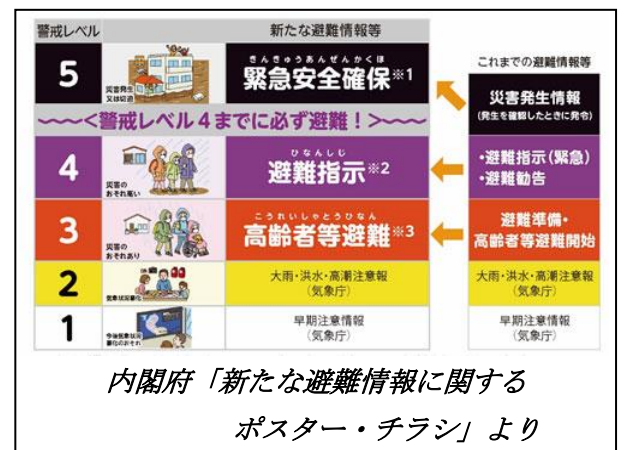
まずは、ここに今回の土石流により、尊い命を亡くされた皆様に対し、哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた多くの皆様にお見舞いを申し上げます。

さて、皆さんは「3助」という言葉を聞いたことがありますか。「自分の身は自分で守る自助」、「自分たちの周囲を自分たちで守る共助」、「市や県、国、防災機関等が住民等を災害から守る公助」の3つのことです。皆さんには、まずは自助、すなわち、いざという時に落ち着いて自らの身を自分で守ってほしいと思います。非常持ち出し袋を調べたり、万一の際に集まる場所を家族全員で確認したりしておくこともこれにあたります。



つい先日のテレビで、今回の災害において、近隣に住むお年寄りに声をかけ、避難のお手伝いをしたある男性のことが報じられていました。この男性は、福祉タクシーの乗務員をされており、「自然に体が動いた」と自らを振り返っていらっしゃいました。皆さんは中学生です。ご自宅の、ご近所のお年寄りや、体の不自由な方にも目を向け、「共助」にも力を発揮してほしいと思います。

さて、今年の5月20日より、公の機関から出される避難に関する指示の出され方が変わったことを知っていますか。「避難勧告」という言葉が廃止され、「避難指示」に一本化されました。さらに、警戒レベル5は、「災害発生情報」から「緊急安全確保」に変更され、直ちに安全な場所で命を守る行動をとる必要があります。ただし、警戒レベル5は、既に災害が発生しているか、切迫し、命の危険がある状態であるとともに、必ず発令される情報ではないことから、警戒レベルが5に引き上げられるのを待たず、警戒レベル4までに避難をすることが必要です。



夏が終わり、秋が近づくと台風の季節となります。以前は市内でも河川が氾濫したり、道路が冠水したりしたことがありました。また、修学旅行やスキー教室、校外学習で朝霞を離れ、生徒の皆さんだけで行動している中で、災害に遭うことがあるかもしれません。皆さんには、公の機関から示される災害に関する情報を適切につかみ、自らやご家族を災害から守るとともに、皆さんの力を必要としている方のために生かしてほしいと思います。

令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ

# 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

## 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません!**

**避難勧告は廃止されます。**  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。**

避難に時間のかかる  
**高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。**